

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜市立長森東小学校		
実 施 期 間	平成26年11月1日(土)～11月7日(金)		
実 施 概 要	・地域住民、中学生と一緒に挙行する挨拶運動(小中連携) ・学校公開日(授業・帰りの会) ・保護者、地域住民、幼児、児童と一緒に挙行する交流活動 「夢づくりふれあいフェスタ」		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	495	人
	地域関係者	119	人
		計	614 人
実 施 状 況	・児童会・生徒会の話し合いを夏休みに開き、あいさつ運動の詳細について話し合った。児童会の計画委員、あいさつボランティア、校区の中学生、青少年育成市民会議の当番の方、職員が朝7:40～8:10に校門に立って、登校する児童に「おはようございます」と挨拶し、心のこもった挨拶をした児童を学校放送で紹介した。 ・9:40～10:25を教科、道徳の授業、10:25～10:35に帰りの会を公開した。道徳の授業に関して保護者から感想をもらい、学校だよりで広める資料とした。 ・青少年育成市民会議、老人クラブ、体育振興会、婦人会、インリーダー、ボーイスカウト、各地区子ども会、PTAがそれぞれ活動コーナーや作品づくりコーナーを設けた。今年度は、ユネスコ協会の協力を得て、県立岐阜工業高等学校の先生と生徒によるコーナーをつくった。また、中学生のボランティアが活動のサポートで参加した。児童は地域のチームで保護者も加わって各コーナーを回ったり、一緒にお弁当を食べたりしてふれあいを深めた。		
成果及び課題	・卒業生である長森中学校の生徒がよいあいさつの姿を見せてくれることでいつもの仲間とのあいさつを見直すきっかけとなり、目と目を合わせ、進んであいさつできる児童が増えた。児童生徒が中心になって活動を進めていく自発的な活動ができた。 ・教科、道徳、帰りの会を参観してもらう。教科以外の道徳の時間を意図的に公開した。参観後、道徳授業の内容について感想を保護者から寄せてもらった感想を、学校だよりで広め、家庭ぐるみの道徳的实践への意識を啓発する計画である。 ・高学年が低学年を気遣いながら回る温かい姿が見られるなど、児童が地域の仲間とコーナーを回ることで、お互いをよく知り、ふれあいが深まった。また、地域の方々が楽しい活動コーナーの工夫をもらい、地域の方ともふれあいを深めることができた。中学生のボランティアも献身的に活動し、小学生のよい見本となった。 ・県立岐阜工業高等学校の先生と生徒によるコーナーでは、東日本大震災の際、被災された子どもたちを励ますために廃物を活用して開発された「光る消しゴム」づくりを体験することができた。 ・今年度、地域のチームで活動した成果を踏まえ、コミュニティスクールとして来年度は、地域のコーナーの持ち方だけでなく、地域の方にも参加していただき、運営面の連携を考えていきたい。		